



士会だより

フレイルって何？

筋力↓ 認知機能↓ 活力↓
体力↓ 社会性↓

リスク↑
・転倒
・骨折
・回復力低下

フレイル
要介護状態になる可能性が高い

要介護状態になる可能性が高くなっていきます

第1部
フレイルの
基礎知識

立ち座り運動

運動の実施方法

大臀筋や 大腿二頭筋・半膜様筋・半腱様筋

「健康づくり・セルフリハビリプログラム」

巻頭言

p. 2

セルフリハビリプログラム

p. 3-5

表彰

p. 6-7

合同防災訓練

p. 8-9

各部だより

p. 10-11

INFORMATION

p. 12-13

会長行動録

p. 14-15

数珠繋ぎ

p. 16



変化を受け入れる

一般社団法人兵庫県理学療法士会
常務理事 小山 長 先生

「世の中は常に変化している」。理学療法士になって26年が経過しましたが、最近あらためて実感することが多くあります。

生活・社会のインフラは大きく変わりました。学生時代のコミュニケーションツールはポケベルで、養成校を卒業する頃、携帯電話が世に出始めました。電話線がないのに何故つながるのか、不思議で仕方ありませんでした。はじめてパソコンを手に入れたのは就職してから4年目、友人から譲り受けた重たい(物理的にも)もので、インターネット環境につないだのはそれから4年後でした。現在、携帯電話はスマートフォンとなり、テレビや映画の視聴など当たり前、装備されるカメラは動画まで撮れてしまいます。インターネットの世界も、クラウドサービスをはじめ、SNS、オンラインゲームやVRなど、加速度的に変化しております。

私が新卒で就職した頃、理学療法士の需要は高く、就職先は引く手あまたでした。その後、診療報酬の改定や介護保険の導入に伴い、私たちの働く環境は変化し、改定の度に右往左往してきました。若手の頃、日々多忙な業務に追われる中、次々と押し寄せる変化に体制の整備を迫られました。気持ちに余裕がなく、いつしか変化を恐れるようになり、できない理由ばかりを考えては頑なに拒んだ時期がありました。とにかく何も受け入れられない心境でした。しかし、転職を機に少し気持ちが落ち着き、ふと振り返ったとき、それが自分の職場や部署、ひいては自分の生活を守るために必要であったことに気づきました。そしてその時、自分の事しか考えていなかった、後ろ向きな感情、生き方であったことも認識しました。「変化を受け入れるようにしよう」、そう心に決めた瞬間でした。

兵庫県理学療法士会の活動に関わるようになって20年になります。この世界に飛び込む時も、変化を受け入れる気持ちを持って決断しましたが、役員をされている先人達は理学療法士の将来をみて活動していました。「できない」という選択肢より、「どうすればできるか」。そのような視点で向き合う先人達をみて、前向きな感情とともに自分の世界が広がっていくのを実感し、今日まで走り続けることができました。

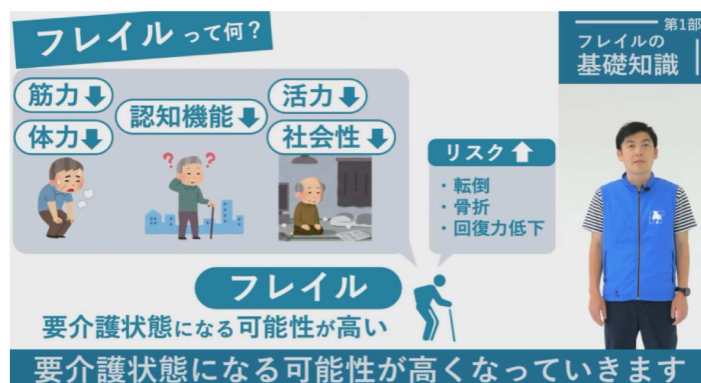
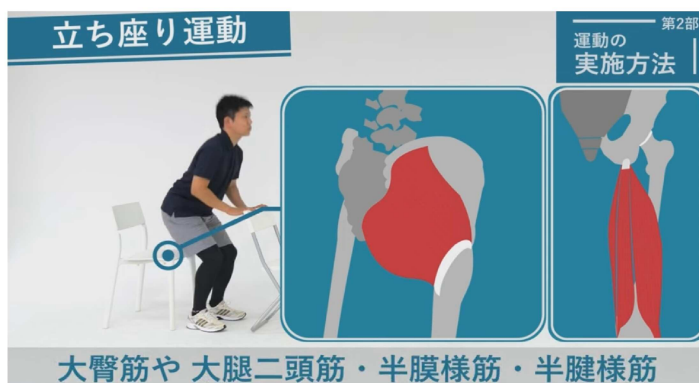
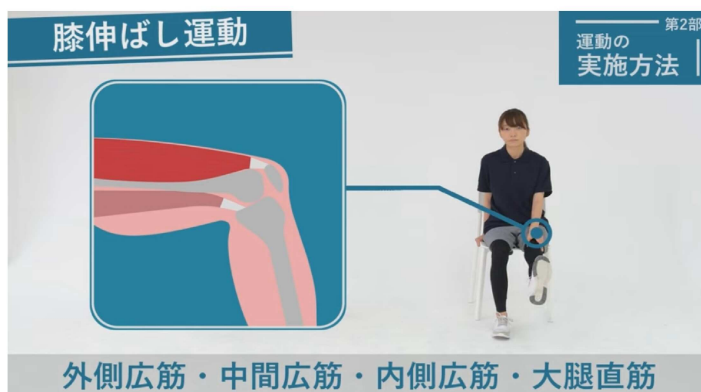
現在、兵庫県理学療法士会も時代の潮流に合わせ変革が進んでおります。予算削減と業務の効率化を目標としたペーパーレス化や士会業務のICT化、より会員の思いを反映させるための代議員制度の導入、依然終息のみえないコロナ禍におけるリモート研修会の開催、COVID-19の正しい情報提供として、感染予防対策委員会の設置と情報共有、などの対策を講じてまいりました。そして今年度からは、アーカイブによる研修会の動画配信サービスも開始となりました。

まだまだ十分な対応とはいええず、ご迷惑をおかけしておりますが、時代の変化に取り残されることなく、兵庫県理学療法士会も変わり続けます。そのためにも、会員方々の思い、知識、技術が必要です。特に若い世代の方々が持つ思いは大変貴重です。価値ある兵庫県理学療法士会となるため、お力添え頂ければ幸いです。今後ともご理解、ご協力の程、宜しくお願い致します。

神戸市セルフリハビリプログラムに係る 動画・リーフレット

神戸市健康企画課より「健康づくり セルフリハビリプログラム」事業の依頼を受け、「新型コロナウイルス感染症によるフレイルを予防しよう」というタイトルで体操動画とリーフレットの作成を行いました。第一弾は、虚弱気味の方へ向けた内容になっており、体操説明動画と体操実施動画を掲載しております。第二弾は、元気な方向けの動画とリーフレットを作成する予定です。作成に当たり、健康増進部部員、協力員をはじめ動画作成に株式会社エブリハ様、リーフレットデザインに日の出医療福祉グループクリエイティブ室の協力を得て完成に至りました。市民の方へ理学療法士の視点から健康増進を啓発する内容を目指し作成いたしました。是非ご確認頂ければと思います。

※外部での動画、リーフレットの活用は神戸市健康企画課へお問い合わせをお願いいたします。
健康局健康企画課 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館20階



新型コロナウイルスによる筋力低下の改善やコロナフレイル予防に取り組もう！

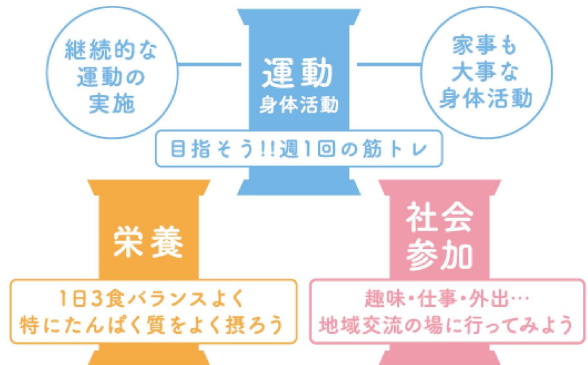
新型コロナウイルス感染流行による影響

○新型コロナウイルスにかかった方

治療や隔離のために長期間にわたり運動、外出することができなくなり、回復しても以前より動けないなど、よりフレイルになりやすいと言われています。

○新型コロナウイルス流行により活動制限の影響を受けた

新型コロナウイルス感染症の流行により、感染を避けるために日々の活動量が低下したり、外出して人に会う機会が減ったりすることで、フレイルになってしまった方が増えていると言われています。



外出や、活動機会の減少

- ・下肢筋力低下
- ・バランス力低下
- ・持久力の低下

転倒リスクの増大

フレイル予防の3つの柱
健康を保つポイント

フレイルって何？

年齢とともに起こる全身の体力の低下、筋力の低下や心の活力の低下のため、体調を崩したり入院したりしたときの回復力が低下し、介護が必要になりやすい状態のことを言います。フレイルを予防することは、その先にある要介護状態の予防につながり、長い間、元気でいきいきと暮らすことができます。

心身の能力

健康な状態



フレイルの段階であれば、適切な対策をとり健康な状態に戻りやすい！

フレイル



要介護



コツコツ取り組める運動をご紹介します！



兵庫県理学療法士会 健康増進部 監修
運動の専門家が紹介する効果的な運動方法！

詳細の動画は
オンラインで公開中

YouTube 兵庫県理学療法士会



座って行う運動

① 膝伸ばし運動



太ももの前側を意識

つま先を上にあげ、ゆっくりと膝を伸ばしてください。
4秒間で膝を伸ばし、4秒間で膝を曲げていきます。

② 足踏み運動



股関節の付け根を意識

背中真っ直ぐにして太ももを高く上げてください。
4秒間で太ももをあげ、4秒間で降ろすようにします。

③ 脚閉じ運動



タオルを丸めてはさみます

太ももの内側を意識

両膝の間に入れてはさんだタオルをつぶすように脚を閉じてください。
4秒間で脚を閉じ、4秒間で戻すようにします。

コツコツ取り組める運動をご紹介します！

表面からの運動の紹介の続きです！

立って行う運動

④ 立ち座り運動



胸の前で手を組んで、立ったり座ったりを繰り返す運動です。動作はできるだけゆっくりと行いましょう。

手を使わずに立つことが難しい方は、前方に手をつけて行っても構いません。



太ももの前側を意識



⑤ 踵上げ運動



体が前のめりにならないよう真上に伸び上がるように行いましょう。

ふくらはぎを意識

両足で立った状態で前方に手をつき、踵を浮かしたり、降ろしたりを繰り返す運動です。

⑥ 開脚運動



体を真っ直ぐにし、椅子にもたれかからないようにしてください。

お尻の外側を意識

両足で立った状態で前方に手をつき、片方の脚を開いたり閉じたりする運動です。

⑦ 脚後ろ上げ運動



体をひねったりせず、まっすぐ後ろに脚をあげるようにしましょう。

お尻の後ろ側を意識

両足で立った状態で前方に手をつき、片方の脚を後ろに上げたり降ろしたりする運動です。

⑧ バランス練習



この姿勢が難しい人は、両足を閉じて立った姿勢をとることで難易度を調整することができます。

※不安な方は背中が壁の近くにある場所で行い、安全を確保するようにしてください。

踵とつま先をくっつけるように、左右の足を一直線に並べます。この姿勢を保持する練習を行います。

社会とのつながりや日々の生活活動は何よりのフレイル予防

フレイルを予防するために最も良いのは、地域社会との交流を持ちながら、日々の生活を営むことです。人とかかわりを持ち、刺激を受けることで健康な状態を維持しましょう。

社会とのつながり



日常生活活動



コツコツ取り組む運動習慣が大事

運動は継続が大切です。テレビ体操や散歩などを都合の良い時間に行い「コツコツ運動習慣」を目指しましょう。

神戸市作成／兵庫県理学療法士会監修

日本糖尿病協会賞(理学療法士部門) 受賞



公立豊岡病院組合立豊岡病院
リハビリテーション技術科 副科長
井垣 誠(いがき まこと)先生

【資格】

専門理学療法士(内部障害)、
認定理学療法士(代謝)、
日本糖尿病療養指導士

【学歴】

1991年:川崎リハビリテーション学院
理学療法学部卒業
2012年:兵庫県立大学大学院 環境人間学研究科
博士前期課程修了 修士
2018年:兵庫県立大学大学院 環境人間学研究科
博士後期課程修了 博士

【職歴】

1991年:神野整形外科病院 入職
1992年:公立豊岡病院組合 入職
2014年-2021年:同豊岡病院日高医療センター
リハビリテーション技術科長
2021年-:同豊岡病院
リハビリテーション技術科 副科長

【学会等での活動】

2004年-2008年:兵庫県理学療法士会
但馬ブロック長
2009年-2016年:兵庫県理学療法士会
健康増進部 部長
2021年-:
日本糖尿病理学療法学会 理事長、
日本腎臓リハビリテーション学会代議員、
国内交流委員、
日本糖尿病療養指導士認定機構 理事

【賞罰】

兵庫県理学療法士会 奨励賞(2014年)、
功労賞(2016年)



受賞コメント

このたび日本糖尿病協会賞(理学療法士部門)を賜り、大変光栄に存じます。また今回、士会だよりに掲載していただき、広報部の皆様に感謝申し上げます。31年間の病院勤務において、多種多様な疾患の患者さんがおられるなかで、私が入職した当時から上司の故・神田 満先生、佐野憲康先生が糖尿病に興味を持って臨床業務、研究を行うよう導いてくださったことが原点にあります。糖尿病に関する学術活動、社会活動を広げていくなかで、兵庫県理学療法士会の役員を務めさせていただき、それがきっかけで糖尿病に関わる全国の仲間と知り合うことができました。特に兵庫県内では永嶋 道浩先生(当士会理事・市立伊丹病院)との出会いが大きく、現在はお互い日本糖尿病理学療法学会の理事として、地域の糖尿病対策推進事業の発展に努力しています。

近年、身体機能が低下した高齢の糖尿病患者さんが多いことを踏まえ、患者さんの身体活動量を増やすために理学療法士の役割は益々高まっていくものと思われまます。血糖管理だけに留まらず日常生活活動や生活の質にも目を向けて運動療法のあり方を探求し、今後も臨床および研究活動を行っていきたく存じます。

井垣 誠(公立豊岡病院組合立豊岡病院 リハビリテーション技術科)

リハメ PT・OT・STのための総合オンラインセミナー

POINT **5**

- どこでも学べる
- 日本最長の講師陣
- オフライン 再生対応
- 定額見放題
- 配信スケジュール 随時公開

リハメとは
「リハメ」はPT・OT・STのための、どこでも学べるオンラインセミナーサービスです。臨床に悩むPT・OT・STのために、各分野の専門家が臨床経験や研究成果に基づいた知識・技術をお届けいたします。

1ヶ月見放題プラン
通常料金 3,080円が初回限定で...

980円 (税込) お申込はこちら

豪華講師陣が 続々登場!

理学療法士 赤羽 良和 先生
理学療法士 石井 慎一郎 先生

法人様向けプランも ご用意しております

お問い合わせは seminar@gene-llc.jp
Tel.052-325-6611

リハビリテーションを「かたち」にする会社 **gene**

〒461-0004 愛知県名古屋市長区長1丁目26-12 IKKO新栄ビル 6階

人にやさしい人になる

PHYSICAL THERAPY ● 理学療法学科 ● OCCUPATIONAL THERAPY ● 作業療法学科 ● SPEECH THERAPY ● 言語聴覚学科 ●

RRC 関西総合リハビリテーション専門学校

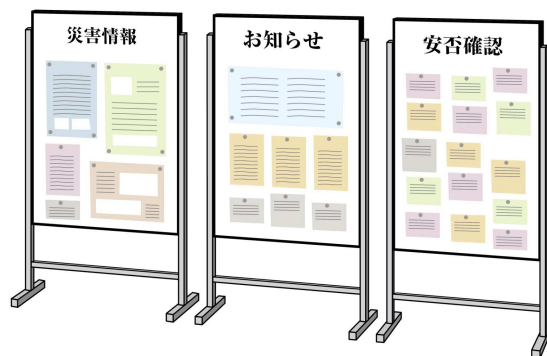
E-mail krc@junshin.or.jp 〒656-2132 兵庫県淡路市志筑新島 7 番 4
<http://www.krc-net.jp/> TEL.0799-60-3600 FAX.0799-60-3610

災害対策部 令和4年兵庫県・播磨広域合同防災訓練を体験して

【令和4年兵庫県・播磨広域合同防災訓練を体験して①～】

北播磨・丹波支部支部長 宇仁菅 敏行

今年9月4日に北播磨圏域の多可町において各種災害支援団体、関連機関から総勢500名が参加する大規模な防災訓練が開催され、リハ関連職で組織された兵庫JRATとして参加した。訓練は、地震災害直後を想定したもので、JRAT内で3グループ(①要配慮者トリアージ②福祉避難スペース設置運営・アセスメント③環境アセスメント・関連機関)に分かれ介入し、私は②グループを担当した。これまでに私は東日本大震災後(岩手県)の災害派遣を経験しているが、その際は復旧期で生活不活発病予防への関わりが主であった。今回の訓練は、災害直後の応急修復期の想定であり、一般避難所で避難生活を送ることが困難な被災者をより分けるリハビリテーショントリアージが中心での関わりであった。役割分担を共有し、訓練開始に至ったが、現場では各団体間での認識の違い、多様な訴えの避難者対応に混乱し、アセスメントや把握の困難さを経験した反面、自身のアセスメント能力に課題を感じた。今回、リハビリ職が災害直後より介入する経験の中で、実際の現場では、予想を超える煩雑かつ混乱の中で、冷静な対応、情報の共有化、記録に残す、伝達(繋げる)の重要性を改めて感じた。今後、地域(行政担当)把握、災害研修等、日頃の備えのあり方を再認識する経験となった。



【令和4年兵庫県・播磨広域合同防災訓練を体験して②～】

災害対策部部員 今西 慶行

この度、9月4日に多可町で開催された、「令和4年度兵庫県・播磨広域合同防災訓練」に兵庫JRATとして参加させて頂きました。JRATとは「日本災害リハビリテーション支援協会 (Japan disaster Rehabilitation Assistance Team)」の略で、被災地にて避難所の環境アセスメントや環境調整、被災者への福祉用具などの選定や動作指導、DVTなどの生活不活発発病の予防に向けた注意喚起や集団体操などを実施しています。普段のJRATの活動は、発災後しばらく経過した後となることが多いですが、今回は初めて、発災後急性期における実動訓練を行いました。そこで、災害時における「リハビリトリアージ」に挑戦しました。「リハビリトリアージ」とは、被災者の心身機能や動作能力から介護の必要度を評価し、適切に避難所内の福祉避難スペースや、介護体制の整った福祉避難所へと振り分けることをいいます。しかし、訓練開始直後は他団体の医療スタッフや保健師などの行政側との連携が上手く取れず、被災者の十分なリハビリトリアージが行えませんでした。しかし、他団体や行政側と適宜意見交換を行いながら、時間が経過するにつれリハビリトリアージを行うスペースや導線を確認し、被災者に対してリハビリトリアージを実施することができました。ただ、リハビリトリアージについては、振り分ける上での明確な基準を設けておらず、評価者によるバラツキや判断に時間を要す場面がみられました。実際の被災現場では、多くの被災者が一度に押しかけることも予測され、迅速なリハビリトリアージが行われるよう、事前の他団体や行政側との打ち合わせ、優先順位を決定する上でのトリアージ基準を考えなくてはならないと感じました。



～精鋭の教員陣による人間教育～

リハビリテーション学部

理学療法学科

神戸国際大学 STMICHELSKIU

リハビリテーション学部／経済学部
〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中9丁目1番6
TEL: 078-845-3111(代表) FAX: 078-845-3200



Steps

想いをカタチに

リハビリ訪問看護ステーション部 アスリートサポート部 ソーシャルメディア広報部
子健医療部 ウイメンズヘルス部 ICTサポート部

兵庫事務所 TEL 078-599-7990 FAX 078-330-3754
〒652-0033 神戸市兵庫区西上橋通 1-1-23 ヴィラ神戸 II 101

神戸西事務所 TEL 0655-0013
神戸市垂水区福田 2-4-4 サン・リベラル 203



医療で社会をつなぐ
「医療社会人」を目指す

学校法人 平成医療学園
宝塚医療大学 TUMH TAKARAZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL and HEALTH CARE

保健医療学部
理学療法学科 柔道整復学科 鍼灸学科

0120-00-1239
〒666-0162 兵庫県宝塚市花屋敷緑ガ丘 1
宝塚医療大 検索
http://www.tumh.ac.jp/



10学部7研究科、総合大学で豊かな人間性を育む

総合リハビリテーション学部

理学療法学科
● 理学療法士国家試験受験資格
● 健康運動実践指導者認定試験受験資格*
※指定科目の単位修得者が取得できる資格

総合リハビリテーション学研究科
大学院 修士課程・博士後期課程

作業療法学科
● 作業療法士国家試験受験資格

神戸学院大学

〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518
有瀬キャンパス TEL(078)974-1551(代表)

各部だより

スポーツ支援部

東播磨支部×スポーツ活動支援部 合同研修会報告

9月11日東播磨支部とスポーツ活動支援部の合同研修会がweb形式で行われました。対面での講習会開催を目指していましたが、COVID-19の影響で会場の確保が難しくZoomでの開催となりました。

今回は、「足関節・足部」のスポーツ外傷・障害をテーマに行いました。スポーツ障害に足関節の外傷・障害は多く認められており、現場での応急処置の機会も多くあります。現場活動をできるだけイメージできるように、動画を多く取り入れた形で実施しました。

まだ、COVID-19の予断を許さない状況で、限定的な活動を余儀なくされていますが、受講される方々と知識と技術の共有を図れるよう、今後も取り組んでいきたいと思えます。



～受講者の声～

今回、参加した「足関節・足部」の研修会では足部の機能からスポーツ傷害や捻挫のテーピング方法まで臨床やスポーツ現場で必要な知識を学ぶことができました。普段は見ることのない足関節捻挫の方や競技復帰していく方へのテーピング方法など非常に勉強になりました。COVID-19の影響でZoomでの開催となり実技ができない状況でしたが、今回の講習会で学んだ事を復習してスポーツ現場で実際に使用できるように自己研鑽していきたいと思えます。

佐藤 優也(甲南加古川病院)

勉強会やスポーツ現場でのサポートに興味がある方は、右記QRコードにアクセスしてスポーツ活動支援部サポートスタッフへご登録下さい。メールにて案内いたします。



「選手はみなさんのサポートを待っています！」

保健福祉部

研修報告

「地域ケア会議推進リーダー導入研修」

8月28日、オンラインにて「地域ケア会議推進リーダー」の履修要件である導入研修を開催しました。プログラムは、但馬長寿の郷の小森 昌彦先生による「地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割」についての講演、部員による「地域ケア会議」についての説明、グループワークでの「事例情報の読み取りや情報整理の練習」、の3部構成です。講演では、高齢者が地域で自立した生活を支援するために、理学療法士が直接的に身体機能に対する支援を行うだけではなく、『参加や活動』に対する視野を広げることや多職種と連携し地域の様々な資源を活用することの大切さなどを学ぶことができました。

またグループワークでは、事例情報をICFで分類し目標達成に必要な解決課題が何であるかの話し合いを行いました。参加者からは「本人の意向や意欲にしっかり目を向けるようになりたい」や、「心身機能・運動能力だけではなく、活動・参加面での意見を発信できる様にならなくてはと改めて感じた」、などの具体的な感想を沢山いただき、地域でのリハ専門職の役割の重要性や多職種に伝える(伝わる)ための情報の収集・整理方法について理解を深めることができましたと考えています。

今回の研修では、地域ケア会議に参加されたことのない方も多くおられましたが、「サービス担当者会議での提案内容や伝え方について今日の学びを活かしていきたい」など、日常業務で多職種や利用者(患者)、家族に情報を伝える場面で役立つとのご意見もいただきました。保健福祉部では、コミュニケーション研修や環境調整に必要な福祉用具に関する研修など、今後も様々な研修を準備しておりますので、ご参加いただけますと幸いです。

梅沢 亜矢(兵庫県立総合リハビリテーションセンター自立生活訓練センター)



病院を母体とする医療の総合教育校

医療系 8 学科

- 診療放射線科
- 臨床工学科
- 視能訓練士科
- 理学療法士科
- 作業療法士科
- 言語聴覚士科
- 歯科衛生士科
- 臨床工学専攻科

Since 1973 医療法人社団 慈恵会
KCC 神戸総合医療専門学校
〒654-0142 神戸市須磨区友が丘7丁目1番21
お問い合わせはコチラ TEL 078-795-8000 (代) 078-795-8100 (入試・広報係) HP <https://www.kobecc.ac.jp>

看護リハビリテーション学部
理学療法学科

女性だから、できるケアがある。
女子大学で、女性のための理学療法を学び、リーダーシップがとれる理学療法士へ。

甲南女子大学
KONAN WOMEN'S UNIVERSITY
〒658-0001 神戸市東灘区森北町 6-2-23

理学療法学科公式サイト 理学療法学科公式 Instagram

INFORMATION

事 務 連 絡

令和4年9月30日

会 員 各 位

(一社) 兵庫県理学療法士会
会長 間瀬 教史
健康増進部 部長 松下 和樹

介護予防推進リーダー導入研修会のお知らせ

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

今年度の介護予防推進リーダー導入研修会を下記のとおり開催いたします。

日本理学療法士協会では地域包括ケアシステムの推進のため、「地域ケア会議」「介護予防」の2つの施策に重点を置き、地域包括ケアシステムに関わることのできる人材の育成を行っています。今回、介護予防推進リーダーの導入研修について皆様にお知らせいたしますので、多数のご参加をお願い申し上げます。

記

日 時：令和4年11月27日（日）9：50～16：10

開催方法：WEB開催（Zoomを利用）

※出席確認は協会アプリ履修登録用のQRコードにて行いますので事前に事前JPTAアプリのインストールをして下さい。

内 容：

第1限

「介護予防・日常生活支援総合事業とリハビリテーション専門職の取り組みを知る」

（講師：洲本市役所 畑山 浩志）

第2限

「介護予防事業の展開方法」～住民のやる気を引き出す5minプレゼンを作ろう～

（講師：甲南女子大学 三栖 翔吾）

～昼休憩～

第3限

「介護予防の実践」～住民がやる！と決めたときの応援10か条を作ろう～

（講師：三田市民病院 和田 真明）

第4限

「介護予防事業の企画立案」～通いの場の実践事例の紹介～

（講師：日の出医療福祉グループ 老健サンライズ 松下 和樹）

受講料：無料

対 象：兵庫県理学療法士会会員（応募状況によっては他道府県理学療法士会会員も受け付けます）

※2022年度4月より推進リーダーの取得要件が変更されます。詳しくは、県士会 HP [\(6/29の新着情報\)](#)

「地域ケア会議 推進リーダー制度・介護予防推進リーダー制度に関するお知らせ」をご確認下さい。

定 員：50名（先着順）

申込み：日本理学療法士協会ホームページ マイページから申し込みください（セミナー番号 **103977**）

（応募期間：10月1日～~~11月10日~~ **11月25日**）

※11月10日以降はマイページではなく下記のメールアドレスへ①名前②協会番号③所属、を記載しお申し込みください。

※本研修会に参加にあたり、研修日までに、e-ラーニングを修了または受講免除手続きを完了させてください。

お問い合わせ：健康増進部 hyogo.kenkouzoushin@gmail.com（担当：松下 和樹）



アーカイブサイトでは・・・



子育て中でも、場所や時間を選ばず
学ぶことができる。



繰り返し見ることができるので、
学習効果が高い。



質問も会員同士のコミュニケーションも可能。
学びを共有することができます。

利用方法

＼こちらを読み込む／

- ① 右のQRコードを読み込む
- ② HPTAメールの案内のとおり
ユーザー名/パスワードを入力してログイン



新着記事続々！ぜひご覧ください！！

会長 行動録



- 8月18日 理事会出席
- 8月19日 常務理事・三役会出席
- 8月21日 兵庫県理学療法学会大会挨拶
- 8月22日 関よしひろ議員政策セミナー出席
- 8月24日 補助金獲得に関する会議出席
岩田理事、小森理事と補助金獲得に関する会議に出席した。
兵庫県から案に対する質問を再度いただき、その回答について検討した。
- 8月25日 山本理事、沖山理事、小森理事、木澤理事、小山理事、檀辻理事と相談
連盟活動について
- 8月25日 兵庫県リハ3士会合同地域支援推進協議会県庁訪問
県の補助金で兵庫県リハ3士会合同地域支援推進協議会で行っている事業について、
県への報告を行った。
- 8月30日 公明党政策要望懇談会出席
公明党政策要望懇談会に出席し、
①高齢者の介護予防等の充実を図るため地域包括支援センターや行政機関での理学療法士等の
リハビリ専門職の雇用の推進、
②回復期、生活期における心疾患、呼吸器疾患に対応できるリハビリテーション職種の人材
育成、
③法律改正、④訪問リハに関する内容、等の要望を行った。
- 8月31日 山本参議院議員に報告
山本議員からの要望で公明党政策要望懇談会行った詳細な内容について、報告した
- 8月30日 兵庫県医療職団体協議会出席
本年度医療職団体協議会研修会について検討した。
- 9月2日 西村やすし議員政策セミナー出席
- 9月2日 谷井県議会議員、兵庫県保健医療部 医務課長 波多野様と相談
今後の会議の日程調整等について。
- 9月7日 谷井県議会議員、兵庫県担当者様と会議
本会から提出している地域医療介護総合確保基金事業に係る意見・提案（令和4年度事業）
「再入院・重度化予防に資するリハビリテーションの啓発と人材育成」について説明した。
- 9月7日 小森理事、岩田理事と相談
補助金獲得事業について
- 9月10日 盛山正仁議員 励ます会出席
- 9月13日 職能部、連盟合同会議出席
連盟の組織化についてお願いした。
- 9月14日 補助金獲得に関する会議出席
岩田理事、小森理事と補助金獲得に関する会議に出席した。
兵庫県から案に対する質問を再々度いただき、その回答について検討した。
- 9月15日 常務理事・三役会出席
- 9月16日 理事会出席
- 9月21日 兵庫県保健医療部 医務課 班長 名久井様、桶土井様と会議
本会から提出している地域医療介護総合確保基金事業に係る意見・提案(令和4年度事業)
「再入院・重度化予防に資するリハビリテーションの啓発と人材育成」について、
今後の方向性について検討した。

- 9月21日 小森理事、岩田理事と相談
地域医療介護総合確保基金事業にかんする。今後の方向性について。
- 9月21日 斎藤協会長と会談
現状の協会および今後の士会事業について
- 9月22日 兵庫医科大学内部質保証評価会議
- 9月26日 兵庫県議会 風早議員と会談
本会から提出している地域医療介護総合確保基金事業に係る意見・提案（令和4年度事業）
「再入院・重度化予防に資するリハビリテーションの啓発と人材育成」に関する相談。
- 9月28日 補助金獲得に関する会議出席
岩田理事、小森理事と補助金獲得に関する会議に出席した。
医務課からの提案に対する変更案を検討した。
- 10月3日 士会目標に関する検討 士会目標、今後の方針についてのまとめを行った
- 10月3日 山本事務局長と検討 士会目標、今後の方針について
- 10月9日 日本理学療法士協会組織運営協議会出席 議事内容は以下の通り。
小委員会とりまとめ報告、本会の政策活動について
2023 年度重点事業について、令和6年度トリプル改定に向けた本会の対応
第58回日本理学療法学会学術研修大会について、
士会援助金に関するご報告についての他報告・連絡事項
- 10月12日 久元きぞう講演会出席
- 10月15日 協会理事(田中理事、白岩理事、湯本理事)と会談
- 10月20日 神戸市自民党予算説明会議出席
神戸市において、地域包括、疾病構造変化に対応した人材育成について要望した。







医療・福祉の仕事を通じて誰かの力になりたい。





その夢を叶える学校です。





神戸医療福祉専門学校中央校
 【介護福祉士科】 鍼灸科 【精神保健福祉士科】
 〒650-0015 神戸市中央区多摩島2丁目6番3号
 (URL) <https://www.ktmw.ac.jp>

神戸医療福祉専門学校三田校
 【理学療法士科】 作業療法士科 【医療福祉士科】
 【社会福祉士科】 高齢福祉士科4年制
 【施設技士科】 整形外科科 【整形外科科】
 〒669-1313 三田市橋本501-85
 (URL) <https://www.ktmw.ac.jp>

姫路医療専門学校
 【作業療法士科】 言語聴覚士科 【臨床工学技士科】
 【医療福祉士科】
 〒670-0927 姫路市駅前町27番2
 (URL) <https://www.hime.ac.jp>

より多岐的な
 多職種連携「W」が学べる、
 新たな兵庫医科大学へ。
 医療人になんかたく
 強い医療人
 ないか。

2022年4月開設
薬学部 | 看護学部 | リハビリテーション学部
 医学部を擁する西日本最大級の医系総合大学に。


 兵庫医科大学

 兵庫県姫路市三木町1-1-1 TEL:079-88-4111
 〒670-0001 神戸市中央区三宮町1-1-1 TEL:078-31-0101



公益財団法人 甲南会
甲南医療センター

藤原 絢 氏



略歴 & 職歴

- 2013年3月
甲南女子大学
看護リハビリテーション学部
理学療法学科 卒業
- 2013年4月
社会福祉法人社団十全会
心臓病センター橿原病院入職
- 2016年4月
(旧)一般財団法人甲南会 甲南病院
(現)公益財団法人甲南会 甲南医療センター現職

趣味

読書、
ヘッドスパなど体のメンテナンスをしてもらうこと

私は、大学を卒業して初めての職場で、心臓病・大血管疾患を治療する病院に勤め、心疾患患者さんは多くの併存疾患をもっていることや、術後の合併症を目の当たりにし、改めて理学療法士は幅広い知識が要求されることを実感しました。また、大学院に通ったり、研究に取り組んだり、自己研鑽に取り組む先輩方が多かったこともあり、自分もいつかは興味がある分野を見つけたいと思っていました。そして、多様な疾患を診る力を養いたいと思い、総合病院である現在の職場に勤務しています。整形外科疾患などを経験し、現在は主に心臓リハビリやがんリハビリに従事しています。どちらのリハビリも理学療法士として最大限のリスク・疾病管理をするために専門的な知識が必要となるだけでなく、多職種の考え方と視点を持ち寄って、広い視野で患者さんをサポートすることにやりがいを感じています。

また、日々の臨床の中で血液腫瘍疾患の理学療法の進め方に疑問を感じたことがきっかけで大学院に進学し、自分と異なる分野で働く院生に多くの刺激を受け、さらに学ぶ楽しさを実感することができています。今後は心リハ・がんリハ両方の知識を活かせる腫瘍循環器分野に関わることを目標として、日々邁進したいと思っています。

次は、神戸医療福祉センターにこのこハウスで重症心身障害児のリハビリテーションに従事されている、伊藤蘭さんにおつなぎします。

表紙写真

神戸市健康企画課より「健康づくり セルフリハビリプログラム」事業の依頼を受け、「新型コロナウイルス感染症によるフレイルを予防しよう」というタイトルで体操動画とリーフレットの作成を、健康増進部が行いました。写真は、内容の一部と健康増進部のスタッフです。市民の方へ理学療法士の視点から健康増進を啓発する内容を目指し作成いたしました。是非ご確認頂ければと思います。

県士会だより 第197号

発行

一般社団法人兵庫県理学療法士会

発行責任者/間 瀬 教 史

編集者/筒 井 章 悟

ホームページ

<http://hyogo-pt.or.jp/>



一般社団法人 兵庫県理学療法士会

兵庫県理学療法士会事務所 所在地

〒650-0012 兵庫県神戸市中央区北長狭通5丁目5-22 4階

TEL 078-367-7311